溶かして流し込む！？　もうひとつの制作技法！

金属で仏像を作ってみよう

銅造十一面観音立像
長谷寺所蔵　重要文化財

完成した仏像は
スタンドに立てて
お持ち帰りいただきます！

古くから仏像は、木材だけでなく、金属でも作られてきました。金属製の仏像は多くの場合、溶けた金属を型に流し込む鋳造技法を用いて作られます。このワークショップでは、鎌倉時代に制作された長谷寺の銅造十一面観音立像をモデルに、その頂上仏面を鋳造します。また、文化村学芸員によるミニ講座も行います。鋳造体験と講座をとおして、仏像の制作技法を学んでみませんか？

無料

2026 年
2/21（土）
14:00 ～ 16:00（講座込）

- **会　場**：なら歴史芸術文化村
  芸術文化体験棟 3 階　セミナールーム A・B
- **定　員**：10 名(予定)【抽選】※同伴参加の場合はお一組で一点を仕上げていただきます。
- **対　象**：小学生以上　※小学生は保護者の方の同伴が必要です。
- **講　師**：山田修さん（奈良県立大学）
- **申込期間**：1 月 13 日（火）10:00 ～ 2 月 3 日（火）17:00
- **主　催**：なら歴史芸術文化村　**協　力**：奈良県立大学 地域創造研究センター

参加申し込みは、なら歴史芸術文化村 HP をご覧ください。
詳細はこちら→